

2014.1.30
東区プラザホール

東区

東区自治協議会まちづくりワークショップのまとめ

新潟市東区自治協議会

東区自治協議会まちづくりワークショップ

実施概要



日時：2014年1月30日(木) 15:30~17:00
会場：東区プラザホール
主催：東区地域課、政策調整課
コーディネート：NPO 法人 まちづくり学校
大滝 聡、池井 豊

当日のプログラム

時間	内容
15:30	オープニング（主催者挨拶）
15:35	区ビジョン点検シートの説明
15:50	ワークショップの手順説明
15:55	グループ内での各取り組み評価（意見出し）
16:25	目標についての意見整理
16:45	グループ発表
16:55	全体確認
17:00	終了

当日のワークショップ風景



I-1 安心していきいき暮らす環境の整備 【安心とやさしさの環境づくり - 防犯・防災】

グループ A：作佐部時雄、五十嵐初司、折笠正寛、佐藤泰司、山田麻衣子

施策の方向の改善案

(修正案) 住みよい地域環境の整備

すべて「安心」「やさしさ」で括るのは無理がある。地域の中でのシステムづくり（行政、自治協、コミ協、町内会、それぞれの役割は何かを考えること）がもっと大事。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(1) 「防犯」に対する評価

- 小学校区における安全マップづくり。防災防犯部、小学生ががんばった。
- 学童帰宅時のパトロール（同伴帰宅）しながら低学年児童を見守る。地域の中でがんばった。
- 子ども（幼児・小中学生）や高齢者らに対する交通安全、振り込め詐欺の防止などを実施している。
- 安全マップづくりを実施。毎年実施の必要性がある。
- 防犯・交通安全パトロールを実施している。

- 空き巣、不審者、振り込め詐欺が増えている。
- タクシー殺人事件が未解決。
- 3件のコンビニ強盗事件が未解決。
- コンビニ強盗が過去にあったので、防犯パトロールの回数を増やしてはどうか。現在は夏休み、冬休みの各1回の実施になっている。
- 年度にもよるが、子ども・中学生の問題行動が目につくことがある。
- いろいろ実施しているが（交通安全・振り込め詐欺対策）、防犯意識が浸透しているか、疑問に感じることがある（さまざまな取り組みの中で見えてきたこと）。
- パトロールなどのマンネリ化が心配。

(2) 「防災」に対する評価

- 津波避難マップの作成（山の下、桃山、大形）。つくったことがよかった。
- 公助共助自助を考える機会が増えた。
- 地域の避難マップを作ったことで地域の意識が変わった。
- 毎年ジュニアレスキュー隊訓練に、山の下中学が数十名参加している。
- 自主防災組織が多くなっている。
- 今までの訓練の方向性を変えて、避難所設営訓練を実施。
- 各家庭の防災が課題【Cグループより】

- 津波避難マップに基づく訓練や地域での意見交換が不足。（マップ作成に関わっていない人へつなげる）
- 他所の防災訓練の紹介がほしい。
- 年一回コミ協、自治会で、訓練を実施。小学校高学年及び中学生の参加を考えてもいいのでは。
- 訓練、研修会の参加者の拡大がむずかしい。
- 助成金だけでなく、訓練の実施方法も地域に伝えてほしい。
- 子どもを含めた、若年層の防災意識を高めることが必要。小学校で取り組んでいく必要あり。
- 自主防災組織結成に誠意がない地域がある。

I-2 安心していきいき暮らす環境の整備 【安心とやさしさの環境づくり - 子育て・高齢者】

グループB：田村征司、本望みな子、清野みよ子、若槻 勲、渡辺順子、佐藤真由美

施策の方向の改善案

(修正案) 助け合い支え合う地域づくり

「安心とやさしさの環境づくり」の解説文の文末にある「助け合い支え合う地域づくり」を重視し継続する。また高齢者に関しては「高齢者の生きがい作り」を盛り込む。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(3) 「子育て支援」に対する評価

- 東日本大震災で避難して来た子育て中の方々を中心に空家を提供したことは良かった。
- マママップ見やすくてとても便利！
- わいわい広場いつでも行けるので心強い！

(4) 「高齢者にやさしい地域づくり」に対する評価

- 高齢者の各地区ごとにグループ会の立上げ。畑作、カラオケ、旅行、ゴルフ、飲み会、つり、他。
- 地域包括支援センターを中心とする研修が活発に行われ、考え方見直しのキッカケとなった。
- 町内の見守り活動で転倒骨折病気の救急搬送、最近2件実証。見守りの大切さ実感。

- 近くにコミハウスがあっても地元の高齢者が利用しづらい。
- 高齢者見守り、民生委員の負担が大きい。
- 地域包括ケアシステムを山の下でやっているというが、分からない。
- 地域の茶の間の活用、各自治会で作られている為、もう少し入り込んでもらいたい。
- ケアシステムは専門用語であり、もう少し高齢者に分かりやすい言葉で紹介などを！
- 高齢者にやさしい地域づくりと言うが実感できる取り組みが見えない。
- 高齢者の生活支援の体制整備はまだまだと感じる。
- 高齢者の生きがい、一人住まいの高齢者に単なる見回りやケアだけでなく、外に出て生きがいの持てる様な事を行ってほしい。

(3) (4) 共通の評価

- 日報の配達員の方が新聞がたまっていると教えてくれる。
- 地域見守りに関する研修がたくさんあり、大変参考になった。
- 企業等の連携はすごく良い事だと思う。

- 自治会との連携が上手くなく、話し合う機会が無い。
- コミ協と直接民生委員との話し合う機会がない。
- 区や社協は自治会や町内会との連携不足を感じる。

I-3 安心していきいき暮らす環境の整備 【個性ある地域文化づくり、体育施設の整備】

グループC：古泉昭一、吉田信延、齋藤政一、川島和宏、和田澄恵、平賀拳斗

施策の方向の改善案

現在の施策の方向：個性ある地域文化づくり

(修正案) 地域に古くから伝わる歴史・文化と、新しく生まれたものを組み合わせる

現在の施策の方向：体育施設の整備

(修正案) 指定管理制度を推進し、市民のニーズにあった体育施設の運用に努める

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(1) 「個性ある地域文化づくり」に対する評価

- 区役所空間スペースを利用したイベントを主体に、区・区民の一体感を図れた。
- 区の歴史の区民との共有。
- 淳足柵探索プロジェクトは市民に夢を与えてくれた。
- 淳足柵探索プロジェクトと商店街の連携は地域活性化の土台にもなる。
- 淳足柵探索プロジェクトなど、重点的に取り組んだので、区民の意識が向上した。
- 地域の業者を巻き込んだ活動につながっている。
- 淳足柵探索プロジェクトのように、区民の視線を同じ方向に向ける取り組みは効果的だと思う。

- ふれあい祭りは区を中心である区役所を駐車場も含めて会場として考えてみてもよいのでは。
- 港や空港を活かした文化交流がない。
- 淳足柵探索プロジェクト以外の東区独自の文化を。
- 区内の文化祭的なものを開催してはどうか。
- 山の下、木戸、石山地区ごとの文化の発掘も。
- 淳足柵探索プロジェクトの仕掛けが先行し、実態(動員数)が伴っていない。
- 淳足柵と最近話題の牡丹山神社とのコラボレーションを考え、歴史ロマンの追求に幅を持たせた方がよい。
- ふれあい祭りに区民、地域がまとまって参加できるとよりよい。
- 区民ふれあい祭りは、年一回では参加できない人も多い。

(2) 「体育施設の整備」に対する評価

- 体育施設の利用が年々増え、健康づくりに貢献した。
- 下山スポーツセンターのほかに民間のトレーニングセンターが区役所にできたのがいい(ジョイフィット)。

- 健康づくりイベントをもっと地域ごとにやったほうがいい。
- メタボ改善など、区の弱点对策と連携を。
- ウォーク、ウォークラリーなど、4地域ごとにあると、もっと参加が増えるように思う。
- 体育施設へのバスの利便性が悪い。
- 他区の施設との比較(利用状況)で成果を出すべきだと思う。(きちんと数字で出す)
- 地域の人々がいけない。(他の地区の人が車で行く)
- 区内にあるのに、石山、木戸地区からは公共交通で行くのが不便。

II

交通網の整備【幹線道路などの整備】

グループD：西方四郎、渡辺富雄、音田 智、大野純一、早福 晃、金子亜矢子

施策の方向の改善案

(修正案) 美しい安全な道路 交通環境の整備

安全なという意味には、人にやさしい、バリアフリーということが含まれている。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(1) 「幹線道路などの整備」に対する評価

- 逢谷内インター整備により、竹尾インターの流れが緩和された。
- 区バスで便利になりました。
- 越後石山駅の西口広場整備が着手された。
- 利用者の利便性を高める越後石山駅の整備に着手。
- 区バス社会実験はおおむねよかった。
- 区バスの運行により利便性が向上。
- 区バスの社会実験は大きな成果になっている(利用者増)。
- 地域公共交通検討会議で総合的な検討が進むことは評価できる。(実効性のあるものに)

- 石山橋の交通整理。
- 渋滞の解消のみならず、道路空間の美化も必要。
- (仮称)新潟東スマートインターチェンジ整備の進行が遅い。
- 渋滞対応の調査：具体的対応と効果について説明をしてほしい。
- 赤道の右折用信号がほしい。
- (路線)小型バスで便数を多くしたら。
- 越後石山駅への取付口道路買収は？ 遅い。
- 区バス(ルート)：区民が利用しやすいように工夫を。
- バスの運行について、行き先「回送」のバスが多く目についた。もっと有効利用できないか。
- JR 駅と区役所及び主要施設とのアクセス整備。
- 区役所を「へそ」としての交通網の整備がなされていない。

III

親しめる水辺などの整備と活用

グループD：南ミイ子、山中知彦、石垣順子、池井 豊

施策の方向の改善案

- | | |
|------|---|
| 1-公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・面積的に充分か？（河川敷もカウントされているので不十分では） ・じゅんさい池エリアの活用活性化を促進する。 |
| 1-水辺 | <ul style="list-style-type: none"> ・通船川の水辺活用の方向性を示す。 ・通船川の空間整備もまだまだ必要。 |
| 2-港 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターフロントとしてチョットおしゃれな方向性も示して欲しい。 ・独特の財産（港・空港・工場の夜景）の魅力を活かして欲しい。 |

全体的に整備（ハード）の方向性から活用（ソフト）の方向性を示してください。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

1. 自然を活かした緑地・公園の整備 「水辺」に対する評価

- 新松崎周辺の通船川は整備されてきた。
- 通船川沿いの旭カーボンなどの夜景が素晴らしい。

- 通船川から市民の関心が薄い。
- 通船川の清掃活動が人手不足となっている。
- 赤道～新松崎までの通船川（貯木場）あたりは人が入れず、怖いイメージ。

1. 自然を活かした緑地・公園の整備 「公園」に対する評価

- じゅんさい池公園が観桜会など市民の親しみの場になっている。
- じゅんさい池公園は地域の特徴を生かした良い公園。
- 寺山公園の完成が待ち遠しい。
- 寺山公園、子ども達が集う施設ができるらしく、楽しみ。
- 大山台公園からの夜景が素晴らしい。

- 区の中央部にまとまった公園は欲しい（防災公園）
- 地域の公園管理に差がある。

2. 港を活かしたまちづくりに対する評価

- 山の下みなとランドは木陰が作られて良かった。
- 山の下みなとランド、夏場の遊び場としてにぎわっている。
- 山の下の旅館？（歴史的建築物）を活かしたい。
- 港に入る客船の夜景が良い。

- 山の下みなとランドが『港を活かしたまちづくり』と言う事に疑問がある。
- 山の下のみちと港のつながりが弱い。
- 港に入りにくい雰囲気がある。